

日ソ共同宣言 調印70周年

『共同宣言の今日的意義』第1部

記念式典・講演

本年は、1956年10月19日に日ソ共同宣言が調印され、日ソ間の国交が回復して70周年に当たります。

また、この調印の結果同年12月18日に日本の国際連合加盟が国連総会で可決されました。

そこで、この節目の年の記念の日に、日ソ関係をめぐる現在の状況下において、日ソ共同宣言の今日的意義を検討し、これからの民間交流と相互理解のあり方を議論するために、下記の通り記念事業を開催いたします。

記念事業は、次の二段階で実施いたします。

第1部 記念式典・講演 2026年10月19日

第2部 記念シンポジウム 2026年12月18日

日ソ関係の今後のあり方にご関心をお持ちの、幅広い皆様のご参加を謹んでお待ち申し上げます。

2026年

10/19 (月)

14:00～17:00

(開場 13:30～)



<式典内容>

発起人代表挨拶
ご来賓挨拶

記念講演（仮題）

日ソ共同宣言の今日的意義（下斗米伸夫）

日ソ関係とエネルギー、サハリンLNGの役割（村木 茂）

シベリアからバラライカへ（北川 翔）

日ソ共同宣言関連資料展示（鳩山会館協力）

会 場

鳩山会館

（東京都文京区音羽1丁目7-1）

地下鉄江戸川橋駅 徒歩10分

会 費

一般 5,000円 学生 1,500円

定 員

45名

申込方法

上記QRコード、または下記サイトよりお申込ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScya875wZmE5OWxlYT1vVVQb04dMue9AptVStZcHE9jIkIcwXQ/viewform>

締切日

10月12日(月)

定員になりましたら、締切日前でも申込みを終了させていただきます。ご了承ください。

<発起人・実行委員会（順不同・敬称略）>

鳩山由紀夫（発起人代表）、下斗米伸夫（法政大学名誉教授）、村木茂（東京ガス社友）、岸本力（日本・ロシア音楽家協会会長）、東郷和彦（元外交官）、田中伸男（元国際エネルギー機関事務総長）、石川一洋（ジャーナリスト）

日本・ロシア協会、日ソ交流協会、日本対外文化協会、ユーラシア21研究所、ロシア文化フェスティバル日本組織委員会

主催・お問合せ先

日ソ共同宣言調印70周年記念事業実行委員会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-9-6-706

E-mail: nisso70th@gmail.com